

鎌倉発の先駆的メンタルヘルス対策を

医療ジャーナリスト 佐藤光展



鎌倉朝日の編集の仕事に筆が時々関わるようになってから、もう5年になる。年末恒例のカレンダー特集を目にする度に、「光陰、矢の如し」を感慨して愕然とする。筆者は全国紙などで新聞記者を25年ほど務めた後、独立した。このうち約20年は本社勤務の医療担当という、異色の経歴である。とはいえ、神戸にいた時には阪神・淡路大震災に直撃されたり、警察担当キャップの年に神戸連続児童殺傷事件(酒鬼薔薇事件)が発生したりするなど大変な目にあった。

厚生労働省が3年に一度行う患者調査によると、2020年時点の精神疾患の推計患者数は614万8千人(外来586万1千人、入院28万8千人)。日本国民の20人にひとりが精神疾患で治療中ということになる。この年の患者調査から外来患者数の推計方法が変わり、過去の数字との単純比較はしにくいものの、18年前の2002年は推計258万4千人だったの

で、患者数が異様な伸びをみせていることは間違いない。故に精神医療の質は向上は急務なのだが、残念なことに医療技術向上の兆しはない。精神医学や精神医療の行き詰まりは世界的な問題だ。動物や細胞を用いた長年の生物学的研究の甲斐もなく、精神疾患の多くは今も原因不明で、有効な検査法すらも見つからない。どの精神疾患なのかを判断する診断基準(診断マニュアル)も曖昧で、過剰診断や誤診とみられる被害が絶えない。頼みの綱である向精神薬も七折薬の効果の差が出てくると、副作用の方が大きいことが珍しくない。

ハーバード大学科学史学科のアン・ハリントン教授は、著書『マインド・ブク薬物偏重療法では、このマニュアル策定に従事していた関係者たちからも攻撃を受けている有様だ』。要するに、科学的根拠が欠けた曖昧な診断に基づき、科学的根拠が欠けた曖昧な診断に基づき、薬物偏重療法では、このマニュアル策定に従事していた関係者たちからも攻撃を受けている有様だ。

筆者は2024年1月、講社現代新書から新たな本『心の病気はどう治す?』を出版する。日本を代表する精神科オースターチームが、薬物療法以外の回復法を民の力にかかっている。詳しく語っているのでぜひお読みいただきたい。だが、メンタルヘルス対策は専門家だけの役割ではない。人間関係や生活環境の改善は、一般市民の力がかかっている。鎌倉には人と人が支え合うネットワークが根付き、心を癒す豊かな自然や文化がある。この地で市民ぐるみのメンタルヘルス対策が花開くことを願っている。

60年に一度の洪鐘弁天大祭

寺社と地域住民が盛大にパレード



円覚寺の洪鐘(国宝) 祭礼「洪鐘弁天大祭」がと、その御神体である弁天を祀る60年に一度の円覚寺、江島神社と山内の人々を中心になって準備した祭礼行列に約800人が参加した。行列では、木遣りに、約1200年ぶりの参加加という江の島離子、威勢

のよい神輿、実寸大の洪鐘を再現した張りぼて、愛嬌を振りまく面掛け、稚児行列、様々な衣装の子どもたちなどが次々に通り過ぎ、道の両側から大勢の人たちが見物した。実行委の関本利男会長は「こんなに多くの人々が来てくれた。きょうまで楽しみにやってきた。やりきった」と挨拶。円覚寺の横田南嶺管長は「地域に支えられることを改めて実感した」とこやかに話し、江島神社の相原園彦宮司は「地元の子どもの参加がうれしい限り。60年後に思い起こしてければありがたい」と期待を述べた。

両市長と行政職員、友好交流会メンバーから松尾崇市、長ら行政職

訪問などを行って、

大韓民国・安東市と鎌倉 友好促進協定

鎌倉市と大韓民国安東市は10月27日、安東市において「友好交流促進協定」を締結した。

両市は、市民団体相互の教育・文化を中心とした交流を契機に2013年7月にパートナーシティ提携を締結し、今年10周年の節目になる。今年4月に安東市の権奇昌市長が鎌倉を訪れた折、10月27日から29日に安東市で開催する「21世紀人間価値フォーラム」へ鎌倉が招待されたこと、その時期に協定を締結することに決まり、鎌倉市から松尾崇市長ら行政職

訪問などを行って、

訪問などを行って、

県建築士会湘南支部50周年 岩崎駿介さんが講演

神奈川建築士会湘南支部(小椋山蔵支部長)が、創立50周年記念式典が11月12日、鎌倉商工会議所ホールで開かれた。

同湘南支部は神奈川建築士会の9つの支部のうちの一つで、1974年(昭和49)に設立され、鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎

岩崎駿介さんが講演した。

岩崎さん(86)は、自分がガーナで教鞭をとったこと、横浜市の都市デザインに関与したこと、

鎌倉ユネスコ協会バザー
12月10日10時~14時
書きそんじハガキでアジア寺子屋支援
場所：鎌倉ユネスコ協会深沢倉庫(深沢中学へ上る手前の信号右折の長屋)。毎月第2日曜、雨天開催。※献品受付：衣類・着物・雑貨・支援用食糧品。問合せ：☎44-9830

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL.0467-22-1081(代)
http://www.tenkundo.co.jp/

鎌倉といえば...
鳩サブレ
豊島屋
http://www.hato.co.jp

鎌倉はんこ
KAMAKURA HANKO
鎌倉市御成町5-6 TEL 0467-37-9297

八幡宮前・蒲焼専門店
う り 茅木家
☎ (22) 1460

1棟1棟が作品です。
ダンハウス株式会社
DANHOUSE
心も身体も暖かい家づくり